

広告掲載料金表

場 所	色刷数	頁	掲載料金	法人会員料金
表紙3	4色	1頁	¥ 450,000	¥ 405,000
表紙3	1色	1頁	¥ 250,000	¥ 225,000
後付	1色	1頁	¥ 170,000	¥ 153,000
後付	1色	1/2頁	¥ 90,000	¥ 81,000
後付	1色	1/4頁	¥ 50,000	¥ 45,000
同梱		1枚	¥ 550,000	¥ 495,000

※上記広告料金に消費税は含まれていません。

広告原稿サイズ

サイズ	天地	×	左右
1頁	260mm	×	180mm
1/2頁	125mm	×	180mm
1/4頁	125mm	×	85mm

締切日

申込締切日 発行月の前々月20日

原稿締切日 発行月の前々月末日

広告のご出稿に際して

- 広告の原稿は完全データ入稿をお願いいたします。
- データ制作・リサイズ・モノクロ変換などの原稿制作が必要な場合は、制作実費を頂きます。
- データ原稿は、文字をすべてアウトライン化済とし、入稿仕様書と簡易校正を添付してください。

発行 公益社団法人土木学会

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目外濠公園内
TEL.03-3355-3435 FAX.03-5379-2769

広告取扱総代理

株式会社 中外

www.chugai-ad.co.jp

東京 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町2-5-2(須田町佐志田ビル) tel.03-3255-8411 fax.03-3255-8412
大阪 〒541-0053 大阪府中央区本町2-1-6(堺筋本町センタービル) tel.06-6260-1791 fax.06-6260-1540
名古屋 〒460-0007 愛知県名古屋市中区新栄3-5-1(セントラル千種) tel.052-242-2510 fax.052-242-2513
上海 〒200030 上海市漕溪北路18号实业大厦34楼G座 tel.+86-21-6427-3660 fax.+86-21-6427-2909

VMC Partner
chugai



発行所 公益社団法人土木学会

媒体資料

土木學會誌



広告取扱総代理

VMC Partner
chugai

土木學會誌



土木学会誌の概要

土木学会誌は、1915(大正4年)4月に創刊しました。土木学会の広報活動の中心とした機関誌として、毎月、約4万人の会員と、国会図書館をはじめとする各種図書館やマスコミ関係機関等にも頒布しています。土木学会の広報にとどまらず、土木業界の最新情報なども提供します。第93巻第1号(2008年1月号)からは、「縦書き」に新装刊し、教養誌としての土木学会誌でも土木を社会にアピールしています。

ホームページでは、土木学会誌の最新発刊情報、誌面には掲載しきれない情報、過去のアーカイブを公開しています。

ホームページはこちら→<http://www.jsce.or.jp/journal/>

「土木学会誌」

創刊年月日 大正4年(1915年)2月

発行部数 約40,000部

土木学会の活動の3本柱

国内有数の工学系団体である土木学会の会員の所属は、教育・研究機関のほか、建設業、建設コンサルタント、エネルギー関係、鉄道・道路関係、行政機関、地方自治体など多岐にわたっています。これら産学官の専門家・研究者が、①学術・技術の進歩への貢献、②社会への直接的貢献、③会員の交流と啓発を柱として様々な活動を展開しています。

東日本大震災シンポジウム



土木図書館



社会への直接的貢献

土木学会では、国内外を問わず、社会に対する直接的貢献を念頭においた活動を行っています。

例えば、国内外の大規模な災害や事故に際して、緊急災害調査団を派遣し、学術的に原因を究明、調査結果を公開するとともに、復旧・復興への提言等を発表しています。

また、土木界は産官学それぞれの分野で、長年にわたり国際活動や海外への事業展開を進めてきました。しかし、近年、急速に進むグローバル化の中で、アジア近隣諸国の経済発展も加わり、国際競争力の低下と国内外のシームレス化の遅れが顕著になっています。土木学会では、国際化や海外展開に関わる多様な課題解決に向け、新たに「国際センター」を設置し、土木界において主導的な役割を果たすべくその活動を強化しています。

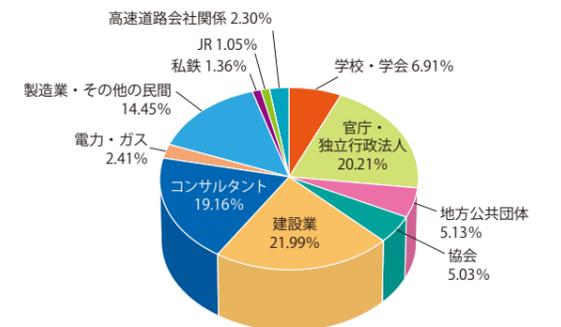
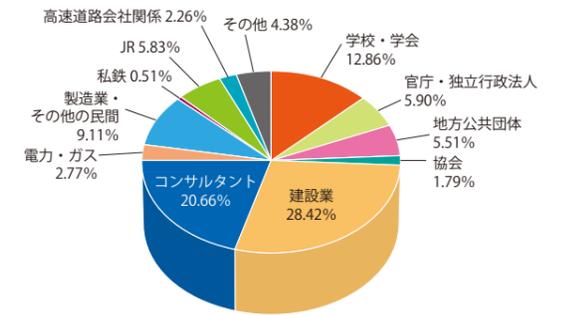
さらに、新しい技術の社会での活用を促進する「技術評価制度」は、より良質なインフラ整備に役立っています。

会員の交流と啓発

土木学会は、会員や社会への情報提供に加え、会員に社会的、学術的活動への参画の機会を提供するとともに、会員相互の交流および会員と社会との交流の場を提供しています。さらに、技術者の資質向上にも努めています。

会員について

会員種別	業種別	会員数	割合	会員数	割合	会員数	割合
正会員(個人)	学校・学会	4,031	12.86%	4,031	12.86%	4,031	12.86%
	官庁・独立行政法人	1,850	5.90%	4,139	13.20%	4,139	13.20%
	地方公共団体	1,727	5.51%				
	協会	562	1.79%				
	建設業	8,910	28.42%				
	コンサルタント	6,476	20.66%				
	電力・ガス	867	2.77%				
	製造業・その他の民間	2,857	9.11%				
	私鉄	159	0.51%				
	JR	1,827	5.83%				
	高速道路会社関係	710	2.26%				
その他	1,374	4.38%					
合計	31,350	100%	31,350	100%	31,350	100%	
学生会員	学校	4,745	100%	4,745	100%	4,745	100%
	学校・学会	66	6.91%	66	6.91%	66	6.91%
	官庁・独立行政法人	193	20.21%				
	地方公共団体	49	5.13%				
	協会	48	5.03%				
	建設業	210	21.99%				
	コンサルタント	183	19.16%				
	電力・ガス	23	2.41%				
	製造業・その他の民間	138	14.45%				
	私鉄	13	1.36%				
	JR	10	1.05%				
高速道路会社関係	22	2.30%					
その他	0	0.00%					
合計	955	100%	955	100%	955	100%	
総合計		37,050	—	37,050	—	37,050	—



情報提供

機関紙「土木学会誌」を毎月発行するとともに、専門分野別の「土木学会論文集」を電子ジャーナル(J-STAGE:(独)科学技術振興機構が運営)上で毎月、公開しています。「土木図書館」は、土木図書館のほか、各種資料を収集・保存し、情報提供を行っている総合的な専門図書館です。

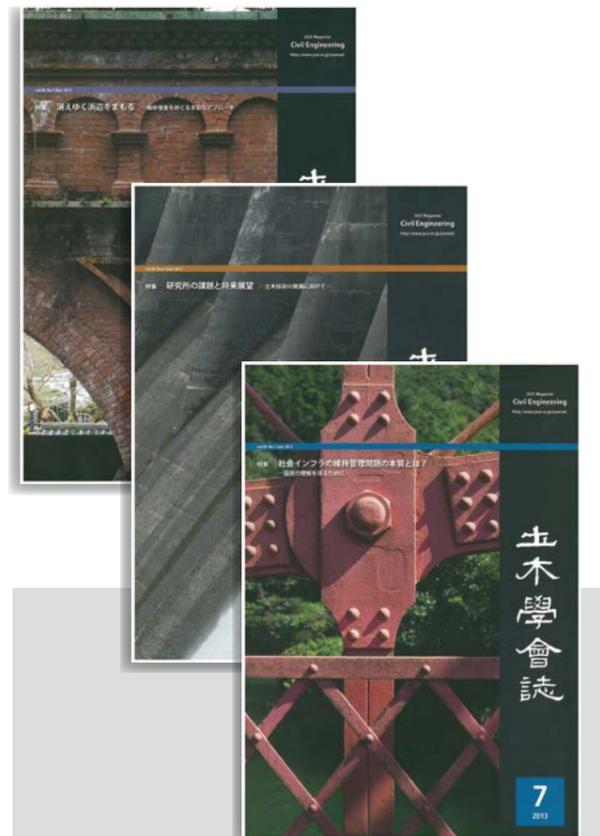
交流の機会

全国大会(毎年9月に実施)では、学術講演会、研究討論会を中心に、情報交換や、土木工学を取り巻く諸問題について意見交換を行い、議論を深めています。特に、海外の協定学協会や当会の海外分会からの参加者として円卓会議などを開き、国際交流を深めています。

また、各専門委員会主催による研究発表会、シンポジウム等を開催し、活動成果の展開はもとより、より専門的な意見交換の場を提供しています。

技術者の資質向上

倫理観と専門的能力を有する土木技術者を評価し、これに社会に対し学会が責任をもって明示することを目的として、「土木学会認定土木技術者資格制度」を、また、土木技術者の能力の維持・向上を目的とした「継続教育制度」を運営しています。これらの制度を通じて、技術者の資質向上を支援しています。



「土木学会誌」月刊・A4判
発行日 当月15日